



(こども版) としょかんだより No.305

2009年

11月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「でっこりぼっこ」 高畠 那生 / 作 絵本館

ある日、巨人が地球の上をマラソンをはじめました。すると、地球のあちこちに、ぼっこりと大きなあしあとのあなができました。ひとびとは、そのあなをプールやトイレにしました。けれども、地球のうらがわでは、おかしなでっぴりができました。



「てっこう丸はだれでしょう？」 さとう まどか / 作 フレーベル館



マンションで育てられていたサボテンの「てっこう丸」は、ある日、引っ越しする持ち主にすてられました。ひろってくれたのは、マキちゃん。でも、くさりそうになると、また、公園のゴミ箱の下に置き去りにされました。雨にふられ、もうだめかと思った時、へんなおばあさんの手の中にいました。

「ザグドガ森のおばけたち」 やえがし なおこ / 文 アリス館

三人のおばけは、ザグドガ森で、毎日楽しく暮らしていました。ところが、むかしの山に住むおばけ「赤ひげ王」の持っている犬が森にやってきては、おいかけまわすので、こまっていました。ある日、三人は、ソーセージで犬を手なずけようとしてますが、失敗。にげおくれた青おばけは犬とともに消えてしまいました。

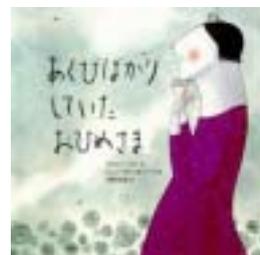


あたらしくはいった本

えほん

「あくびばかりしていたおひめさま」

カルメン・ヒル / 文 光村教育図書



年じゅうあくびばかりするおひめさまは、王さまにとってなやみのたねです。あくびを止めようと、手をつくしますがうまくいきません。そんなある日、おひめさまは庭をさんぽしてある途中で、男の子が噴水に落ちるのを見ました。

ものがたり

「とびらをあければ 魔法の時間」

朽木 祥 / 作 ポプラ社



今日は、バイオリンのレッスン日ですが、同じ曲でつまづき前に進めません。わたしは、レッスンをさぼり、知らない駅におりたちました。そこには、「すずめいる堂」と書かれた店があり、『すずめいるどきです。どうぞ。』と札がかかっていました。



おしえて、世界のおはなし
モンゴル



モンゴルは、ロシアと中国にはさまれています。遊牧民族やゴビ砂漠もよく知られています。13世紀はじめ、モンゴル王チンギス・ハーンがここに帝国を築きました。現在は、日本の大相撲でモンゴル出身の力士が活躍しています。

「子どもに語るモンゴルの昔話」 蓮見 治雄 / 訳・再話 こぐま社

「アローハンと羊」 興 安 / 作 こぐま社

「スーホの白い馬」 大塚 勇三 / 再話 福音館書店

「いしになったかりゅうど」 大塚 勇三 / 再話 福音館書店

「ムルンとサルタン」 うだ さちこ / 作 リーブル



ものがたり

「たいせつな友だち」

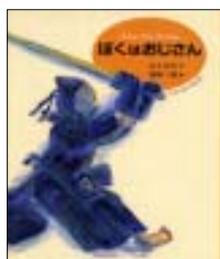
モリヤ・シモンズ / 作 くもん出版



ケイトは、^{てんこうせい}転校生ステファニーと友だちになりました。しかし、クラスみんなはステファニーをダサイ子だといいます。ある日、両親がステファニー一家を夕食に招待^{しょうたい}していることを知りました。ケイトは自分までダサイと言われるのがいやで、ステファニーが家に来ないように神さまにお願いしました。

「ぼくはおじさん」

山下 奈美 / 作 小峰書店



大志の家は^{ぶどうぐてん}武道具店で、父も兄も剣道の先生をしています。小さい時に、母が家を出たため、家の中は冷たい雰囲気です。ある日、兄に赤ちゃんが生まれることになり、おどろきました。大志は自分がおじさんになることを受け入れられないのです。

ちしきの本

「チリメンモンスターをさがせ！」

きしわだ自然資料館 ほか / 監修 偕成社



チリメンジャコを知っていますか。その中にまじってかくれている小さな生き物たちを“チリメンモンスター”と言います。通称チリモンです。チリモンはさまざまな姿や形をしている海にすむ生き物たちです。探して、観察してみましょう。



「ダーウィン」日記と手紙にかくされた偉大な科学者の努力と夢

アリス・B・マクギンティ / 文 BL出版

今年、生誕 200 年を迎えた偉大な科学者チャールズ・ダーウィンの一生を木版画で描いた伝記絵本です。自分の素朴な疑問の答えを見つけるために努力を重ねるダーウィンの姿が^{えが}描かれています。

名作をよもう！

今月の1さつ

「スーホの白い馬」 大塚 勇三 / 再話 福音館書店



モンゴルの草原に貧しい羊飼いの少年スーホがいました。

ある日、生まれたばかりの白い子馬を見つけ、家に連れて帰ります。心を込めて育てた子馬はりっぱな白馬になりました。ある年、町で行われた競馬大会に優勝した白馬を王様が気に入り、うばってしまいました。白馬は、けがをしながらもスーホのもとににげ帰りましたが、次の日、死んでしまいました。スーホの夢の中で白馬は自分の体を使って楽器を作ってくれとたのみました。それが馬頭琴です。



とやまし あ・れ・こ・わ

富山県中央植物園

平成8年、婦中町に開園したこの植物園は、25ヘクタールの敷地に国内外から集めた約5000種以上の植物を展示しています。

園内は、「世界の植物ゾーン」と「日本の植物ゾーン」にわかれ

中央にある花のプロムナードでは、春には90本の

ソメイヨシノが咲き、桜のトンネルができます。

富山県で発見された新品種のサクラ（コシノフユザクラ）

もあります。

5つの展示温室では、冬でもきれいな花を鑑賞できます。



[スイフヨウ]

富山市立図書館の、ホームページでも

「わくわく本だな」を見ることができます。

< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272

